



☆かがやけ☆

倉敷市立上成小学校
学校だより 第6号
令和4年8月26日(金)

「安心」を基盤に子供たちが主体性を発揮し、「実りの学期」に！

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。学校には、子供たちの明るい声が響き、活気が戻ってきました。夏休みに入ると同時に、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、激増した感染者数は高止まりし、収束の兆しが見られません。学校では、3密の回避、手洗い、換気等、基本的な感染症対策を徹底し、感染リスクの低減に努めます。また、しばらくは厳しい残暑が続くと思われるので、熱中症予防にも努め、子供たちの健康面には十分に留意していきたいと考えています。



さて、2学期は、秋の遠足(1~3年)や山の学習(4年)、社会科見学(5年)、修学旅行(6年)などの校外学習を計画しています。また、学芸会については、新型コロナの感染症対策を講じながら実施する予定です。一年間の中でも最も長い2学期を「実りの学期」とするために、日々の授業はもちろんのこと、行事における豊かな体験を通して、望ましい人間関係に支えられた「安心」を基盤に、子供たちが主体性を発揮し、様々な力を伸ばしていくことができるように指導の充実を図っていきます。1学期同様、保護者の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

《始業式で子供たちに話したこと》

■「上成小のAAA(安心・安全・挨拶・ありがとう)」について

特に、「安心」を意識して、一人一人が気持ちよく学校生活を過ごせるようにしよう。礼儀に関わる「挨拶」や「ありがとう」も「安心」につながる。次の二つのことに気を付けよう。

- ①よりよい言葉の使い方をする。…温かい言葉を掛け合う。丁寧な言葉づかいをする。
- ②いじめや差別は絶対にしない。…お互いのよさや違いを認め合う。

※「体の性が男で心の性が女」といった「性別違和」をもつ人が、「心の性」を大事にすることを周りの人に認められて、「自分らしく」生きることができた実話を紹介しました。

■「ハート&スマイル!チーム上成小」について

心を鍛え、心を強くする。そのために、苦手なことや難しいことにも真剣に取り組む。友達と「笑顔」でつながり、協力し助け合いながら共に成長し、「笑顔」になる。「チームの一員」としての心構えをもち、自分の役割を責任をもって果たし、人に迷惑をかけない。

■「『か・が・や・け』上成小の子供」について

2学期を実り多い学期にするために、「かんがえる子」「がんばる子」「やさしい子」「げんきな子」の力をしっかり発揮し、さらに伸ばしていこう。

1学期の「学校生活アンケート(重点的取組について)」より

1学期末、子供たちに対して、本年度の重点的取組に関わる内容について、アンケートを実施しました。調査結果の肯定的回答の割合を以下に示します。概ね期待する結果が得られました。2学期も引き続き、子供たちへの指導や支援の充実にも努め、さらに成果を上げていきたいと考えています。

「授業は、分かりやすく楽しい。」：85.6%、「授業では、よく発表したり友達と話し合ったりする。」：78.0%、
「学校へ行くのが楽しい。」：82.7%、「友達にやさしくできる。」：92.6%、「進んで取り組み、最後までがんばることができる。」：86.6%、「自分にはよいところがある。」：83.0%、「先生は、話をよく聞いてくれる。」：91.1%、
「先生は、がんばったことやよくできたことをほめてくれる。」：91.6%